



幻の酒米「白藤」プロジェクト



**秋晴れの天気恵まれ元気一杯稲刈り！
中野区の2校の小学校田んぼで
春陽が稔る。稲刈り・はざかけの指導**



「上鷲農園」の看板をバックに、5年2組の生徒と白藤のメンバーが刈り取って束ねた「春陽」をもって記念撮影。



○ 初体験の稲刈りに大歓声！ ○

6月に白藤プロジェクトの学生が田植え指導をした中野区立上鷲宮小学校、武蔵台小学校の2校で稲刈りをしました。今年天候に恵まれて両校とも大豊作。午前中は上鷲宮小学校で稲刈り。学生6名が新潟での稲刈り体験を基に鎌の使い方、稲の束ね方を指導。鎌は危ないので細心の注意を払いながら子供たちと一緒に稲刈りをしました。

○ 一人4株の貴重な稲刈り ○

3～4時限目に1クラスずつ稲刈りをしました。わずか4株の稲刈りでしたが、鎌で稲を刈り取る時の感触を味わいました。又、稲を持つと「かゆい！」と半そで姿の子供たちは大騒ぎ。お米を食べるには育てる所から収穫して炊飯するまで、こんなにも手間がかかることを学びました。



噂のイケメン先生に学生たちはソワソワ。こんな素敵な先生に教わりたかった。



学生が5年生に向けて、一人ずつ感想を述べました。子供達はお姉さんのモンペに興味津々。



束ねた稲は、教室の窓に干す予定が、豊作のために干す場所が足りず急遽、廊下にも干しました。



干した稲の香りが教室一杯に広がります。天候がよいので2～3日で乾燥が仕上がりそうです。



午後の講義のため学生3名が大学に帰校。校長先生と記念撮影で別れを惜しみました。



春陽を育てて3年目の武蔵台小学校田。
たわわに稔り最高の出来になりました。
紫稲、神丹穂、白藤をプレゼント！



○ 鳥よけネットの上からスズメが啄む ○

武蔵台小学校の田んぼは、稲刈り最適期を迎え黄金色に輝いていました。鳥よけネットを張ってスズメ対策をしていましたが、よく見ると田んぼの外側の稲はスズメに啄ばまれ「茎」だけの稲穂の姿が・・・。

5年生が育てた春陽は無農薬で愛情たっぷりなので、スズメにとって大変なご馳走だったのでしょうか。

○ 給食で春陽を食べてみる ○

武蔵台小学校は午後の5～6時限目が稲刈りでクラス毎に行いました。午後は学生3名で白藤プロジェクト第2期リーダーの岡本香さんが代表して説明。4列に並び、女子と男子が交互に整列して刈取ました。

校長先生の計らいで、全校生徒に給食で春陽を食べてもらうことになり、10月下旬の給食で5年生が育てた春陽と足りない分は田植指導をした阿部さんの春陽を加えて給食に提供することになりました。

5年生が他の学年の子供たちに「春陽」の説明をして特別なお米であることを伝えてくれればと願います。

白藤プロジェクトでは「食育の循環」を目指します。又、「田んぼを丸ごと愉しむ」活動を進行中です。ご期待ください！



刈り取った春陽を束にして並べていきます。丁寧に丁寧に刈取、そして、束ねました。



予定していた窓枠だけでは干しきれず、ハザカケの列はどんどん伸びました。



ハザカケ終了後、ドライワラの紫稲・神丹穂・白藤、そして、「はんぶん米」をプレゼント。